

2017 年・2018 年合格目標 国家総合職 オリエンテーション

補助資料

担当 国家総合職講座担任 山下

1. 合格点はどのくらいか？

平成 27 年本試験 1 次試験合格に必要な点数(太字が平均点・網掛けは基礎能力試験 50%)

法律区分(基礎能力試験・専門試験ともに 40 点満点)

基礎	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	32
専門	37	36	35	34	34	33	32	31	30	29	29	27	26	22

経済区分(基礎能力試験・専門試験ともに 40 点満点)

基礎	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
専門	27	26	25	25	24	23	22	21	20	20	19	18	17

政治国際区分(基礎能力試験・専門試験ともに 40 点満点)

基礎	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
専門	35	34	33	32	31	30	30	29	28	27	26	26	25

院卒区分(基礎能力試験は 30 点満点・専門試験は 40 点満点)

基礎	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
専門	33	32	31	29	28	27	26	25	24	23	22



基礎能力で最低 50%、できれば 60%(例年の点数)



専門 60~70%あれば合格できる



最終合格するには・・・(1 次が最低点の合格の場合&英語試験の活用ナシの場合)

筆記で平均点レベル＝専門記述 50%＋政策論文 60%を取れば、人物試験が C ランクで合格

できる



ここに英語試験の活用による加点が加わる

＝今年の夏までにスコアを取っておけばよい

2. メイン科目とサブ科目⇒それぞれ勉強の密度・やるべき時期が異なる

①基礎能力試験

	大卒程度	院卒者
メイン	文章理解 (11 題) 数的処理 (16 題)	文章理解 (8 題) 数的処理 (16 題)
サブ	時事 (3 題), 自然科学 (3 題) 人文科学 (4 題), 社会科学 (3 題)	時事 (3 題), 自然科学 (1 題) 人文科学 (1 題), 社会科学 (1 題)

②専門試験

択一式

	法律	経済	政治国際
必須	憲法 (7 題) 行政法 (12 題) 民法 (12 題)	経済原論 (16 題) 財政学・経済政策 (5 題) 経済事情 (5 題) 統計学・計量経済学 (5 題)	政治学 (10 題) 国際関係 (10 題) 憲法 (5 題)
選択	商法, 刑法, 労働法, 国 際法 (3 題), 経済学・財 政学 (6 題)	経済史・経済事情, 国際 経済学, 経営学, 憲法, 民法 (3 題)	行政法, 行政学, 国際法 (5 題) 民法, 経済学, 財政学, 経済政策, 国際事情 (3 題)

記述式

	法律	経済	政治国際
必須		経済原論	
選択	憲法, 行政法, 民法, 国 際法 , 公共政策 A・B	財政学, 経済政策 , 公共 政策 A・B	政治学, 国際関係 , 憲法, 行政学, 国際法, 国際関係 A・B, 公共政 策 A・B



専門については、記述のことも考えて、**メイン**とサブを考える

※法律区分の**国際法**は、記述で採る人には準メイン

経済区分の**統計学・計量経済学**は、準メイン

政治国際区分は、記述科目によってメインが変わってくる

補 判断推理、数的推理とは？

判断推理…高度なクイズ？⇒**数学・算数**が苦手な人でも問題演習量でカバーできる科目

例題(平成 27 年国家総合職 No. 12 正解 5 データリサーチ正答率 57.6%)

【No. 12】 ある画家の作品展示即売会が3日間(初日・中日・最終日)にわたって開催された。来場者全体について、次のことが分かっている。

- 初日に来場した人は、最終日にも来場した。
- 特別入場券を持っていた人は、初日又は中日に来場した。
- 作品を購入した人は、少なくとも2日来場した。

ここで、A～Dの4人の絵描き仲間の来場状況についてみると、3日とも来場した者はなく、また、4人のうち何人が来場したかという人数は各日で異なっていた。各人が、来場したいずれかの日に次のように話しているとき、確実にいえるのはどれか。

ただし、「会った」とは同じ日に来場していたことを、「会わなかった」とは同じ日に来場していなかったことを示す。

A：「今日、Bに会わなかったが、Cに会った。」

B：「今日は自分にとって2日目の来場であり、Dに会った。」

C：「今日、A、B、Dのうち1人だけに会った。気に入った作品があったので購入した。」

D：「来られるのは今日だけだった。」

1. A～Dの全員が同じ日に来場したことがあった。
2. Aは、作品を購入しなかった。
3. Bは、特別入場券を持っていた。
4. C以外に少なくとも1人が作品を購入した。
5. Dは、特別入場券を持っていなかった。

数的推理…算数の文章題、数学の平面図形⇒数学・算数が苦手だと苦労するが、点を拾うことができればよい＝ジャンルごとに克服していく

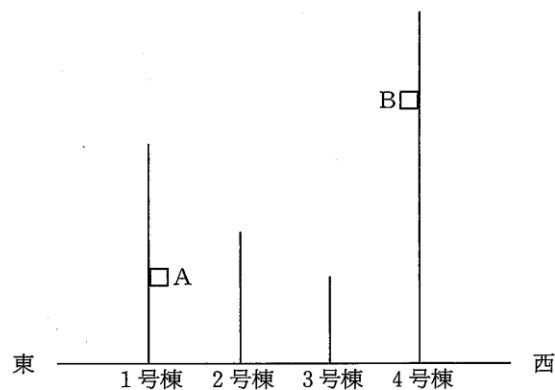
文章題の例題(平成 27 年国家総合職 No. 21 正解 5 データリサーチ正答率 23.8%)

【No. 21】 1号棟から4号棟までの4棟の建物が図のように東西に一直線上に順に等間隔で並んで建っている。1号棟の西側の外壁と4号棟の東側の外壁には作業用のゴンドラが設置されており、ゴンドラと建物の高さについて次のことが分かっている。

- ゴンドラはそれぞれ一定の速さで地上と最上部との間を止まらずに昇降を繰り返している。
- 4号棟のゴンドラの速さは1号棟のゴンドラの速さの3倍である。
- 1号棟の高さは2号棟の高さの1.5倍である。
- Aが1号棟のゴンドラで地上から上昇したとき、地上から1号棟の $\frac{1}{3}$ の高さを通過したときに4号棟の最上部が初めて見えた。
- Aが1号棟のゴンドラで地上から上昇したとき、地上から1号棟の $\frac{8}{9}$ の高さを通過したときに3号棟の最上部が初めて見えた。

いま、Aが1号棟のゴンドラで地上から上昇し始めるのと同時にBが4号棟のゴンドラで最上部から下降し始めた。このとき、1号棟の高さを1とするとAが初めてBの乗ったゴンドラを見るのは地上から1号棟のどの高さを通過したときか。

なお、各建物の幅、A及びBの身長やゴンドラの大きさは考慮しないものとする。

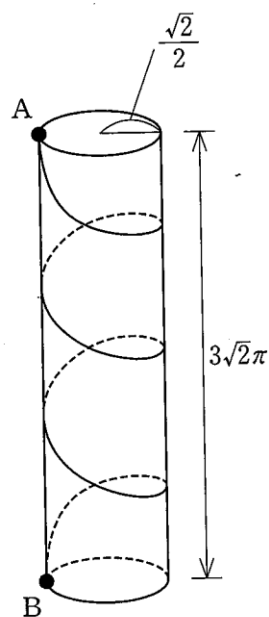


1. $\frac{2}{9}$
2. $\frac{1}{3}$
3. $\frac{4}{9}$
4. $\frac{5}{9}$
5. $\frac{2}{3}$

【No. 20】 図のように、半径 $\frac{\sqrt{2}}{2}$ 、高さ $3\sqrt{2}\pi$ の円柱の上面の点 A から糸を、円柱の側面をちょうど 3 周して点 A の直下にある底の点 B に到達するように巻き付けるとき、糸の最短の長さはいくらか。

ただし、糸の太さ及び弾性は考慮しないものとする。

1. $2\sqrt{5}\pi$
2. $\frac{9}{2}\pi$
3. 6π
4. $6\sqrt{2}\pi$
5. 9π



空間把握…最近はあまり出題がない＝平成 25 年は出題ナシ⇒出題されても 1 問～ 2 問

例題(平成 27 年 国家総合職 No. 18 正解 2 データリサーチ正答率 48.8%)

【No. 18】 図 I のように一辺の長さが 4 の正方形の紙を折った後、図 II のように破線部分で切断した。切断した後の紙を展開して得られた平面図形のうち面積が最も大きいものを、直線上を滑ることなく左から右へ転がして 1 回転させたとき、その中心が描く軌跡の長さはいくらか。

図 I

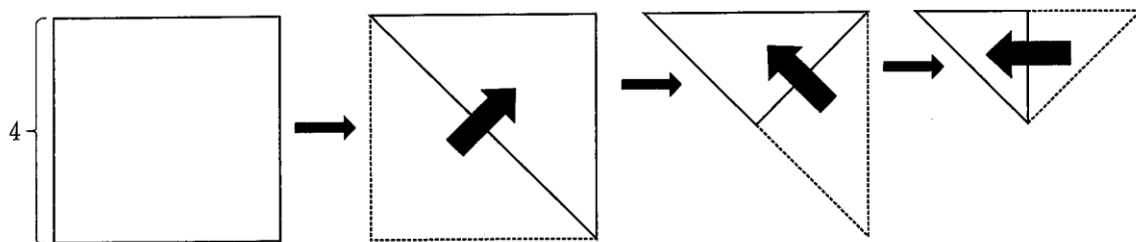
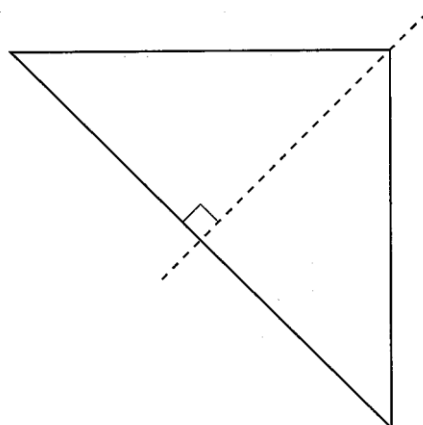


図 II



1. 2π
2. $2\sqrt{2}\pi$
3. 4π
4. $4\sqrt{2}\pi$
5. 8π

資料解釈…数表、グラフなどの資料を読み取って、簡単な計算をする

⇒数学・算数が苦手な人でも問題演習量でカバーできる科目

例題(平成 27 年国家総合職 No. 26 正解 4 データリサーチ正答率 87.2%)

【No. 26】 表は、2010 年、2011 年、2012 年における A～H 国等の自動車(乗用車、トラック・バス)生産台数を示したものであるが、これから確実にいえるのはどれか。

(千台)

年 国・地域	2010 年			2011 年			2012 年		
		乗用車	トラック ・バス		乗用車	トラック ・バス		乗用車	トラック ・バス
A 国	9,630	8,310	1,320	8,400	7,160	1,240	9,940	8,550	1,390
B 国	18,270	13,900	4,370	18,420	14,490	3,930	19,270	15,520	3,750
C 国	710	500	210	840	560	280	1,060	740	320
D 国	1,600	1,370	230	1,650	1,410	240	990	850	140
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
アジア地域計	41,930	32,940	8,990	41,720	33,080	8,640	44,740	35,690	9,050
E 国	2,230	1,920	310	2,240	1,930	310	1,970	1,680	290
F 国	840	570	270	800	490	310	680	400	280
G 国	1,410	1,210	200	1,990	1,740	250	2,230	1,970	260
H 国	1,390	1,270	120	1,460	1,340	120	1,580	1,470	110
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
ヨーロッパ地域計	18,550	16,510	2,040	19,580	17,490	2,090	18,590	16,660	1,930
世界計	77,610	58,240	19,370	79,880	59,900	19,980	84,140	63,070	21,070

- 2010 年に対する 2012 年の自動車生産台数をみると、A～H 国のうち、その増加率が最も大きいのは C 国であり、減少率が最も大きいのは D 国である。
- 2011 年と 2012 年の各年についてみると、A～H 国のうち、自動車生産台数が前年と比べ 20% 以上増加しているのは、2011 年の G 国だけである。
- 表の 3 年についてみると、A～H 国のうち、トラック・バスの生産台数が自動車生産台数に占める割合が最も低いのは、2011 年の H 国である。
- 表の 3 年のいずれについても、B 国の乗用車の生産台数が、世界計に占める割合は 20% を上回っており、また、当該台数がアジア地域計に占める割合は 40% を上回っている。
- 表の 3 年についてみると、F 国では、乗用車の生産台数が年々減少しているが、自動車生産台数に占める割合は年々高くなっている。

③学習スケジュール

目標

(法律区分)

年末までに憲法・行政法・民法・数的処理を受講⇒復習⇒問題演習(最低2回転)

(経済区分)

年末までに経済理論・数的処理を受講⇒復習⇒問題演習(最低2回転)

※財政学・経済政策は講義の進度に併せて来年やる

(政治・国際区分)

年末までに政治学・国際関係・数的処理を受講⇒復習⇒問題演習(最低2回転)



そこまでに力をつけて、後はその力の維持(メンテナンス)を図るだけ

勉強方法

メイン科目

講義で学習

問題演習で勉強

復習 = 講義の再生 ≠ 大雑把な復習 + 問題演習

サブ科目

講義で学習

問題演習で勉強

復習 ⇒ ざっくりとした復習

年明け2月くらいからしっかりと復習

数的処理⇒受講・復習が終了したら

	判断推理	数的推理・空間把握	資料解釈
月	2問演習	軌跡(2h) ⇒Webを使って講義の復習から再度勉強する	
火	2問演習		
水	2問演習	確率(2h) ⇒基礎的な問題演習をしっかりと行う	
木	2問演習		
金	2問演習	旅人算 ⇒基礎的な問題と国総レベルの問題を比較対照して、その差異をパターン化する	
土	2問演習		
日	2問演習		資料の時間(1.5h)

ノルマをかける
できないものは解答を写す

⇒ジャンルごと
⇒自分の現状のレベルに応じた勉強

ノルマをかける

2本立ての勉強